

Q 1. 「分配金なし」と「高分配型」、どちらのファンドを選びますか？

A 1. ファンドが投資する資産の価値が上昇する場合、収益は「分配金なし」の方が大きくなります。

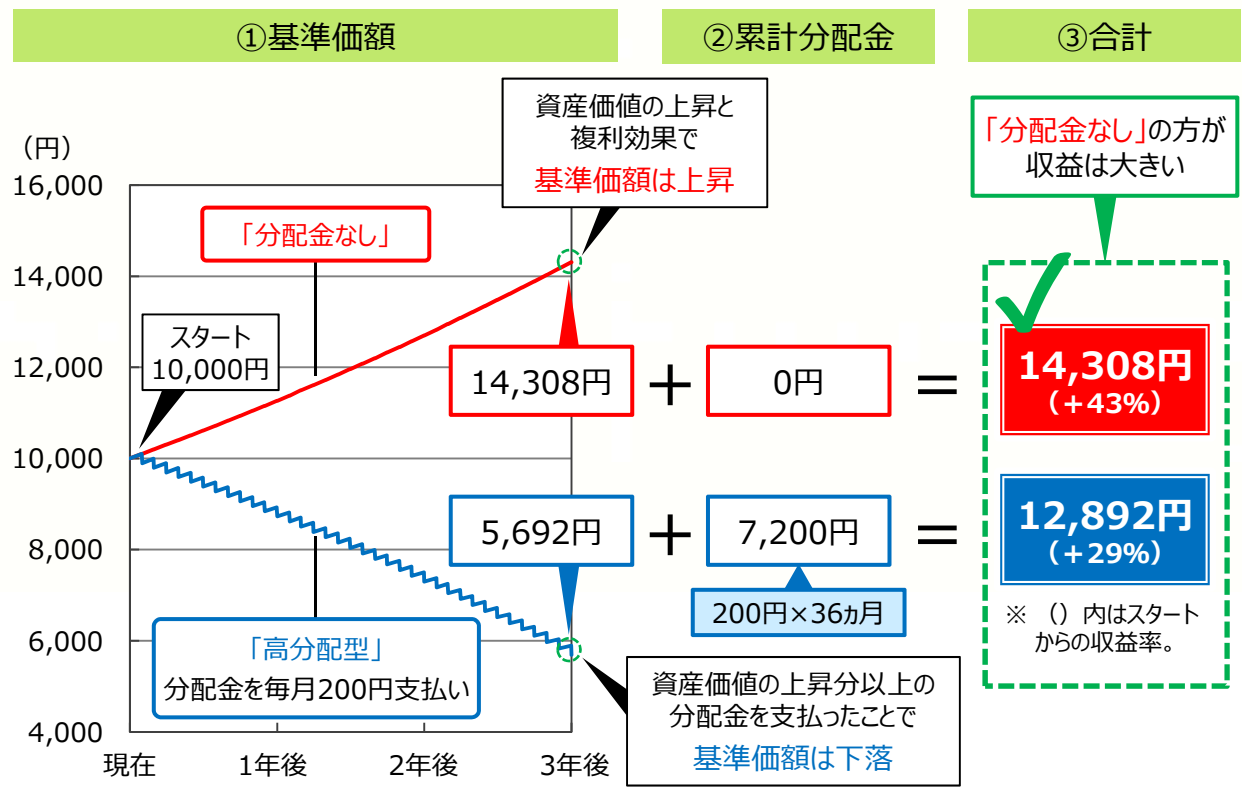
ファンドが投資する資産の価値が上昇することを前提と考えます。「分配金なし」では分配金を受け取ることはできませんが、ファンドが投資する資産の価値は複利効果*を伴い増大するため、基準価額は上昇します。一方、「高分配型」では多くの場合、分配金を毎月受け取ることができます。しかし、下図の試算のように資産価値の上昇分以上の分配金を支払う場合、元本の一部が払い戻されることになり、基準価額は下落します。ファンドが投資する資産の価値が上昇することを前提とすると、下図の試算でみられるように、収益（基準価額と累計分配金の合計）は「分配金なし」の方が「高分配型」より大きくなります。

ファンドが投資する資産の価値が上昇する場合、「分配金なし」は、収益は相対的に大きいものの、分配金を受け取ることができません。「高分配型」は、収益は相対的に小さいものの、多くの場合、分配金を毎月受け取ることができます。このような特徴を理解した上で、ご自身のニーズにあったファンドを選ぶことが大切です。

* 資産価値の上昇分が分配されずファンドに「再投資」されることにより、上昇分がさらなる上昇を生んでふくらんでいく効果

「分配金なし」と「高分配型」で3年間投資した場合の収益の試算

【試算の前提条件】 ファンドが投資する資産の価値は毎月1%上昇



※ 上記は一定の前提条件に基づきシミュレーションを行ったものであり、実際の投資成果ではありません。また、今後の市場環境等を保証するものではありません。

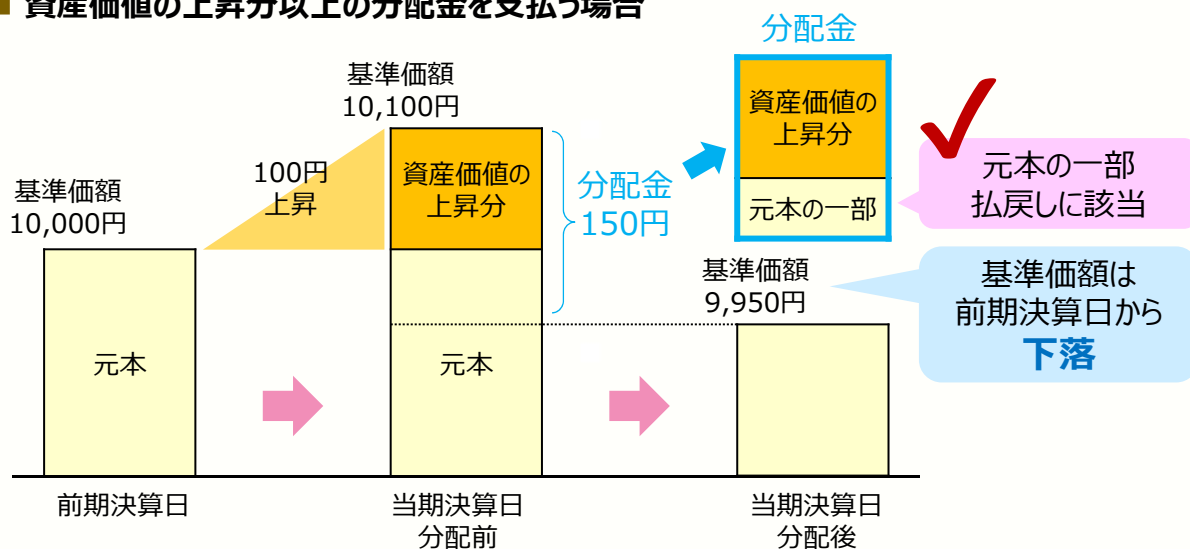
※ ファンドが投資する資産の価値が下落する場合には、収益は「高分配型」の方が大きくなります。

Q2. 「資産価値の上昇分以上の分配金を支払う場合、元本の一部が払い戻される」とはどういうことですか？

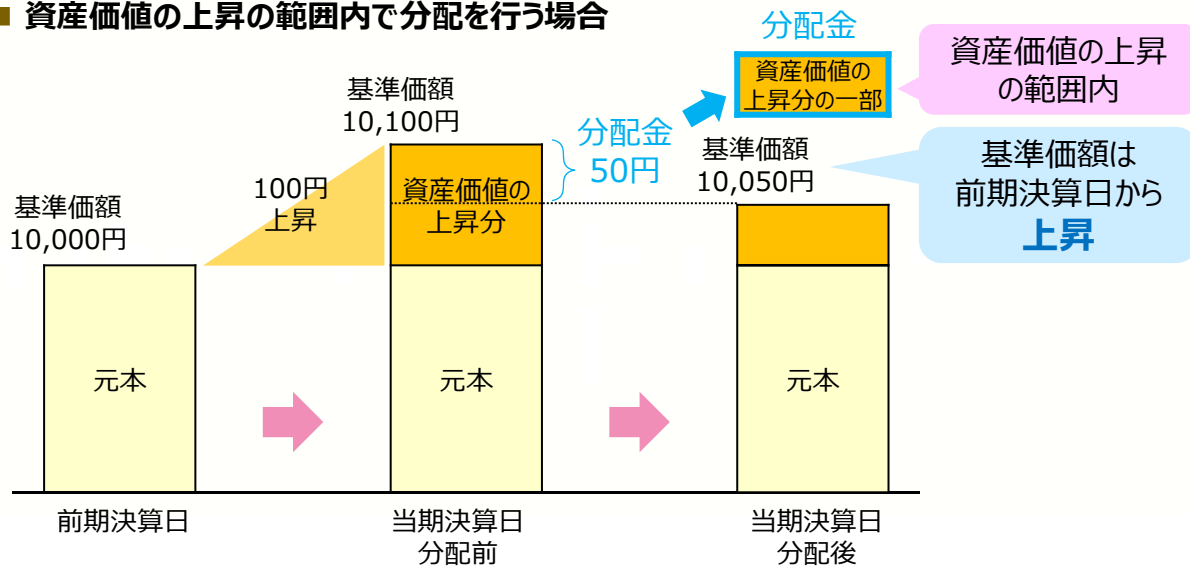
A2. 下記の「資産価値の上昇分以上の分配金を支払う場合」(上図)で、元本の一部が払い戻されるイメージをご確認いただけます。

資産価値の上昇と分配金の支払いのイメージ

■ 資産価値の上昇分以上の分配金を支払う場合



■ 資産価値の上昇の範囲内で分配を行う場合



※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。